

1 計画策定の背景・目的

足立区では、これまで「子どもの貧困対策実施計画」に基づき、困難を抱える子どもや家庭への支援に取り組んできました。本計画は、こども基本法の趣旨を踏まえ、これまでの取組を土台としながら、妊娠期から若者期までを見据えた切れ目ない支援を進めるため、新たに策定するものです。すべての子ども・若者が、生まれ育った環境に左右されることなく、将来に希望を持って成長できる地域社会の実現を目指します。

2 計画の位置づけ

本計画は、こども基本法に基づき区の子ども・若者施策を分野横断的に整理し、総合的に推進する指針とします。

3 計画期間

令和8年度から令和12年度までの5年間

4 計画の対象

本計画では、

- ・15歳までを「子ども」
- ・16歳から概ね29歳までを「若者」

とし、子ども・若者本人に加え、家庭や地域、支援に関わる関係者も含めた取組を対象とします。

5 基本理念

すべての子ども・若者のウェルビーイングをともに考え、ともに進む、アダチ。
～生まれ育った環境に左右されない未来に向かって～

6 計画の柱

計画では、次の3つの柱を中心に施策を展開します。

- 柱1 すべての子ども・若者の生き抜く力を育む
- 柱2 安心して子どもを産み育てられる環境を充実させる
- 柱3 地域全体で子ども・若者の成長を支える

7 計画を推進するための視点

すべての施策に共通する考え方として、次の3つの視点を重視します。

- 視点1 子ども・若者の意見表明と参画機会の創出
- 視点2 必要とする人に伝わる情報発信
- 視点3 多様なニーズに応じた切れ目ない支援

8 今後の重点的な取組

社会状況の変化を踏まえ、外国にルーツを持つ子どもや家庭への支援、子どもの命を守る教育と支援、経済的に困難な世帯への支援、家庭や学校以外の居場所づくり、地域全体で子ども・若者の成長を支える仕組みの構築について、強化または新たに取り組んでいきます。